

町の教育のあるべき姿とは？

町教育懇談会を開催

教育委員会の新たな取り組みとして、12月8日と9日の両日に教育懇談会が開催されました。

懇談会には、保護者や地域住民、教育関係者など50人ほどが参加し、秋田県東成瀬村の家庭学習の取り組みなどを紹介しながら、当町での家庭学習の在り方や地域の役割、またテレビやインターネット、携帯電話やスマートフォンなどメディアへの接し方の問題など、町の教育のあるべき姿について活発な意見交換が行われました。



近藤誠一さんが名誉館長へ

都内で委嘱状交付

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に尽力された前文化庁長官の近藤誠一さんが、平泉文化遺産センター名誉館長に就任しました。

11月27日に東京都内で委嘱状交付式が行われ、青木町長をはじめ、共に拡張登録を目指す候補資産がある一関市の勝部修市長、奥州市の田面木茂樹教育長が出席。青木町長から近藤さんに秀衡塗の委嘱状とネームプレートが渡されました。



元気に餅つき「よいしょ！」

園児と商工会青年部が餅つき

12月9日、平泉商工会青年部(阿部茂幸部長)が町立幼稚園と平泉、長島両保育所を訪れ、餅つきを行いました。

この日は、同青年部員13人が平泉と長島二手に分かれて、園児と一緒に餅つきを楽しみました。園児たちは順番にきねを持ち、「よいしょ！ よいしょ！」と元気な掛け声とともに、白い餅を力いっぱいつき上げていました。

つき上がった餅は、あんこ餅や納豆餅などにしてみんなでおいしく食べました。



児童生徒の声を聞く

町地域婦人団体協議会リーダー研修会

11月29日、町地域婦人団体協議会による研修会が、「私たちの婦人活動」をテーマに役場会議室で開催されました。

研修会には会員ら約70人が出席。4地区の婦人会の代表者が交流事例や課題について実践発表を行いました。

また研修会では実践発表のほか、「子どもたちから学ぶこれからの平泉」をテーマに、次世代を担う町内の児童生徒と意見交換を実施。今後の婦人会活動に生かすため、子どもたちの声に耳を傾け、共に未来について考えていました。

役場庁舎前で出発式

骨寺村荘園中尊寺米納め

一関市巖美町本寺地区で収穫した新米を中尊寺に奉納する「骨寺村荘園中尊寺米納め」(本寺地区地域づくり推進協議会)が12月13日に行われ、同地区民や本寺中学校生徒ら約100人が参加し、役場庁舎前で出発式が開かれました。

同地区は奥州藤原氏が平泉を治めていた平安末期、「骨寺村荘園」として中尊寺の経蔵別当領とされた歴史に関わりのある地。中尊寺までの道中では、13区の住民らが沿道から応援するなど、行列を盛り上げていました。



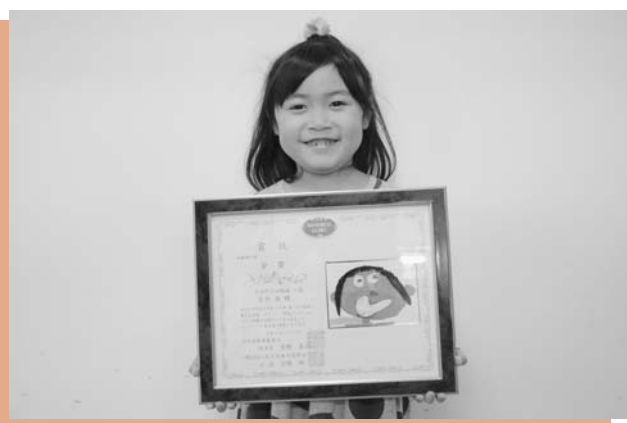
交通安全の意識高揚を図る

町交通安全推進大会

27年度町交通安全推進大会が12月4日、役場会議室で開かれました。大会には交通安全関係者ら約100人が参加。また大会では、次の交通安全の表彰が行われました。

【町交通安全功労表彰】▷千葉純さん(11区)▷浅利公治さん(18区)▷朴澤春夫さん(19区)

【行政区対抗交通安全コンクール前期の部】▷1位=1区▷2位=2区▷3位=9区【同後期の部】▷1位=1区▷2位=2区▷3位=19区



菅原海ちゃんが金賞を受賞

歯・口の健康に関するコンクール

県の平成27年度歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール(日本学校歯科医会など主催)の幼稚園の部(図画)で町立幼稚園ぞう組の菅原海ちゃんの作品が最高賞の金賞に選ばれました。

受賞した海ちゃんは「金賞がもらえてすごくうれしい。歯の部分が難しかったけど、口の形をハートにしたり、上手に描けた」と笑顔で話していました。



梅植栽地に説明板

梅で結ぶ秋田県横手市栄地区との交流

13区の住民と交流する秋田県横手市栄地区のさかえ市民会議と大屋敷梅保存会のメンバー5人が、12月7日に来町しました。地元住民と共に、無量光院跡近くに植えた「大屋敷梅」の補植をし、梅に関する説明板を取り付けました。

栄地区は、平泉の奥州藤原氏が登場するきっかけとなった後三年合戦の地であり、歴史的なつながりによって、平成26年から住民が互いに行き来するなど、両地区間での交流を深めています。